

## ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：府中市

### 1 要旨

府中市では、ひろしまの森づくり県民税条例(平成18年広島県条例第58号)の規定による県民税を活用し、森林の機能が十分発揮される森づくりや森林を市民で守り育てる意識の醸成を図るため、下表に定める事業を実施することとしています。

### 2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	里山林の手入れ不足や竹林繁茂により景観が悪化している。	里山林の放置や竹林の拡大化などにより景観が悪化しているため、住宅地、主要道沿線の里山林整備が課題となっている。	里山林の放置や竹林繁茂などにより景観の悪化が懸念されることから、健全な里山林へ誘導し、地域全体で森林からもたらされる景観を共有できる里山林を目指します。	景観悪化が顕著な地域において、景観保全を目的とした森林整備に取り組むとともに、その効果が維持・向上される地域から重点的に実施する。
防災・減災林 (特認含む)	度重なる雨、風の影響により、里山林が地域住民の生活を脅かす恐れがある。	里山林の放置により、災害の危険性のある里山林となるため、里山林整備が課題となっている。	里山林の放置などにより災害の発生が懸念されることから、健全な里山林へ誘導し、地域全体で森林からもたらされる安全を共有できる防災・減災林化を目指します。	災害の危険性のある里山林のある地域において、防災・減災を目的とした森林整備に取り組むとともにその効果が緊急を要する地域から重点的に取り組む。
地域資源活用林 (特認含む)	生活様式の変化等により、里山林が地域の資源として利用されなくなり荒廃が進んでいる。	里山林の荒廃により森林浴やレクリエーションの場としての機能の提供が低下しているため、森林とふれあえる里山林の再生が課題となっている。	森林浴やレクリエーションの場としての機能低下が懸念されることから、森林とふれあえる里山林へと再生し地域住民等に広く利用されるとともに、生活に安らぎと潤いを与える資源林を目指す。	荒廃と利用低下が顕著な地域の資源として活用される里山林の再生を目的とした森林整備に取り組むとともにその効果が緊急を要する地域から重点的に取り組む。
環境緑化保全林				
鳥獣被害防止林	シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げ、鳥獣被害が拡大している。	シカやイノシシなどによる鳥獣被害が拡大しているため、野生動物との共生を目指した里山林整備が課題となっている。	シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げつつあることから、生物多様性の保全や野生動物とのすみわけがされるなど、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し野生動物との共生を目指します。	鳥獣被害が著しい地域において、バッファゾーンとしての森林整備とその他の対策を一体的に取り組むとともに持続した管理が見込まれる地域から重点的に実施する。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

### 3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者) ※主体別に記入  森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)	森づくり事業を活用するボランティア団体は財務基盤等が脆弱であるため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望がある。【森林ボランティア団体数:6団体】	市内域をカバーできる程度のボランティア団体が存在し、自らの収入と会費で運営されながら、森づくり事業を活用し森林保全活動を展開することにより、地域の活性化に寄与している。	里山保全活用支援事業を活用し、ボランティア団体活動の維持と組織の活性化を図り次世代に活動をを引き継いでいく。 【森林ボランティア団体数:6団体】
取組への理解促進  参加拡大による理解促進  事業の理解	住民への説明  ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか周知できていない。	市民が森づくり県民税の使途や効果、実績を理解している。 市民が欲している、森林・林業に関するイベントや活動などの情報がタイムリーに入手できる。	県と連携し、市広報紙を活用し事業の実績や効果を市民に広く発信する